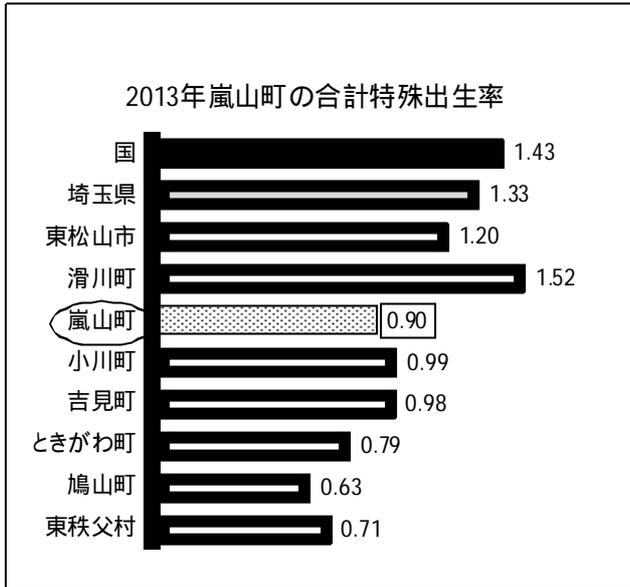


# 嵐山町で子どもをうむ人が少なくなったのはどうしてですか？

2013年の合計特殊出生率は0.9でした。結婚している女性が少ないのでしょうか。政策の失敗をみつけて、もう一度政策を見直して人口減少を抑え、将来の世代に負担の少ない生活をつくっていきましょう。



合計特殊出生率は「15～49才までの女性の年齢別出生率を合計したもの」で、一人の女性がその年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子どもの数に相当するといえます。

2.05を維持しないと人口は減少します。

日本は2005年の1.25を境に上昇しましたが、2014年1.43から1.42に減少に転じました。団塊ジュニアの次の世代になったからです。嵐山町は減少が下記のとおり国・県より大きいのです。

